



1984/1 NO. 180





写真は3月18日の開港が待ち遠しい富山新空港

# 新年のごあいさつ

富山県の新しい世紀の新春を県民の皆様とともに、**寿**ぎたいと思います。昨年は置県百年という意義深い年であり、数々の多様な記念事業が県民の皆様の積極的な協力と参加をいただき、有意義に展開されました。これらの事業を通じて結果された県民の英知とたくましい実践力は、記念事業の大きな成果であり、新しい県づくりへの礎となるものと信じております。

今年、昨年四月に策定された「富山県民総合計画」に基づいて、「活力と温かい心に満ちた美しいふるさと富山県づくり」に努力するとともに、二十一世紀に向けて「日本一の健康・スポーツ県」、「日本一の花と緑の県」、「日本一の科学・文化県」の三つの日本一に挑戦し、富山県が新世紀へ向けて大きく羽ばたく年にならしたいと思っております。

私は、これらの目標の実現のために、「明日を拓く人づくり」、「魅力ある郷土づくり」、「活力ある産業づくり」の三つを政策の柱として、施策を着実に推進してまいりたいと考えております。

このため、今年も北陸新幹線の早期着工、富山テクノポリス構想の実現、文化の県づくりなどを進めてまいります。特に、富山新空港は関係各位のご協力により、今春三月十八日にジェット機が就航し、まさに「新世紀への飛翔」となります。

今年、私が知事に就任して四年目に当たりますが、「政治は誠なり」を根本理念として、初心を忘れることなく、輝かしい明日の富山県と県民の皆様の幸福のために、さらに全力を尽くす覚悟であります。

今年も、県民の皆様の県政に対するご理解とご協力を切にお願ひ申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

富山県知事 中 沖 豊

## 表紙絵

### 富山の四季 ⑩

# 「冬の視角」

三 尾 公 三 作 1980年  
合 板・アクリル 120.2cm × 194.0cm

わが国のフォト・レアリズムの第一人者、三尾公三氏が「富山を描く」企画のために来県したのは、昭和五十五年二月末のことであった。来県を前に、既に「雪国の冬をテーマに」と心に決めていた三尾氏が、最終的に取材地として選んだのがこの雨晴海岸である。

雪の降り積もった海辺、その彼方に広がる青い海。大自然が冬の最中。ふと現出させた一光景が水平軸を基本に明快な色面対比を通して描き出されている。

また、海辺に残された漁船の静まりとは対照的に、海に注ぎ込む川の流れと岸辺に打ち寄せた波とが自然の営みと時の流れを物語っている。

しかし、こうした何げない光景を描いた作品でありながら、この絵が見る者を鮮烈に印象づけるのは、まず、この作品を支えている写真的表現であり、さらに、この写真的風景の中に現出する一種トロンプ・ルイユ(だまし絵)にも似た幻想的虚構性にあるといえよう。

すなわち、ここに描かれた雨晴海岸の風景は、確かに作者がその眼で実景として、その写真的な表現により強い現実性をもって訴えかけてくる。

しかし、同時に、作者は女性の眼とその残像を遠近法的に白い雪面に現出させることによって、この風景を一種シュールレアリスムの世界にもた非現実的な幻想空間へ転じたのである。

こうした風景そのものは強いて解釈すれば、三尾氏が雨晴海岸を前にして描いた心象風景と言えなくもない。

しかし、こうした何げない風景やモチーフ(女性の眼)をその素材としながら、これらを現代の視覚像を支配する写真的イメージとそのメカニズムとの一



雨晴海岸を取材する三尾公三氏

貫した文脈の中へ組み込み、そこにシュールレアリスムとも異なるフォト・レアリズムとも異なる現代の新しいイメージで世界を創出した点に、この絵の魅力と作者の創意があったと言える。そして、このことは、三尾公三をして、現代の最も注目すべき具象作家の一人に位置づける大きな理由の一つともなっているのである。

(県立近代美術館 学芸員 大坪健二)

1月号	富山の四季⑩「冬の視角」	表1・2	家電製品の修理についての自主基準スタート	16~17
	新年のごあいさつ	1	トピックス・県政のうごき	18~19
	新春座談会	2~9	お知らせ、お茶の間にお届けします県広報	20
	「富山第2世紀への文化づくり」		置県百年記念施設⑦ 富山空港	表3
	北陸自動車道滑川~朝日間開通	10~12	わたしたちの壁画'84展開催	表4
	料理飲食等消費税でミニ減税?	13		
	県内の話題を全国に	14~15		

**新春  
座談会**

知事と語る

富山第二世紀への文化づくり



この座談会は、1月3日に富山テレビ放送の新春番組を紙上掲載したものです。  
なお、紙面の都合上、一部添削してあります。

出席者 (敬称略)

中 高 山	沖 野 口	豊 悦 博	(富山県知事)	(岩波ホール総支配人)	(富山大学教授)
-------	-------	-------	---------	-------------	----------

山口 みなさん明けましておめでとございます。  
富山県は、去年置県百年を迎

え、今年からは第二世紀への第一歩を踏み出しました。

そこで、きょうは、富山県が今後、文化の県となるためには、一体、何をどうしたらいいのか、中沖知事を迎え、ざっくばらんに語り合いたいと思います。

スタジオには富山県ご出身の岩波ホールの総支配人でございます高野悦子さんにおいて願いました。

高野さんのご両親は富山県のご出身でございましたね。

高野 父が黒部市、母が福岡町の出身ですが、私自身も、昭和二十年五月から三年間住んでまして、二十一年に魚津高等女学校を卒業しています。

ですから、今回は記念すべき富山県の第二世紀のはじめに富山県人の一人として、この番組に出演させていただいたことをとてもうれしく思っています。

山口 お仕事は……  
高野 東京の神田の神保町で、岩波ホールという小さなホールで、世界の映画など名画を紹介する仕事をしています。

# 映画との出会い

山口 今日、三人そろいまして、お互いに昭和一けた生まれですね。共通の世代ということで、お互いに共通の映画を見ているんじゃないかと思うんですが、知事は何か記憶に残っている映画がありますか。

知事 私は戦争中もいろんな映画を見ましたが、特に戦後は心も飢えていたため、多くの映画を見ました。

山口 高野さんは、ご専門ですから、たくさん見ていらっしやるでしょうね。

高野 敗戦の翌年の昭和二十一年にアメリカの映画がどっと入って来ましたが、初めての映画が、「春の序曲」と「キューリー夫人」なんです。その「キューリー夫人」をこの富山の焼け跡に建ったバラックの映画館で見たのです。この映画の影響がたいへ

ん強くて、私は、なんと偉い女性がいっぱいいるのだなあと感じました。

私は何をしていいのかわからなけれど、私なりに何かに一打ち込んで働いていきたいなあと思っていました。

山口 そうすると富山の映画が今の高野さんを作ったということになりますね。

## 文化の県

### づくりを推進

山口 ところで高野さんは夢を作る人であり、私は文学を通して解説する人であり、知事は夢を実現する立場にあると思うんですが、どうでしょう、新しい年を迎えて、文化について何か抱負をお持ちじゃないでしょうか。

知事 今、富山県は二十一世紀

戦争中の映画だったんです。お二人もご覧になったと思います。が、「ハワイ・マレー沖海戦」や「海軍」を見て、みんなで拍手したところ、引率の先生が「お前たち何でバカなことするんだ。あれは絵空事じゃないか」と言うんです。

関しては、人の問題、施設の問題、芸術・文化の活動の問題といった三つの面から施策を進めてきています。

人の問題で言いますと、優れた人が育ち、そして集まり、いろいろと活動してもらいたいと思いますし、芸術文化組織が発展し、充実するようにしていきたいと思うわけです。

施設に関しては、最近市町村でもいろんな文化的な施設が建設され、いいホールができてきたと思っています。

県でも、これから県民センターを建設したいと思っていますし、施設整備にも努力したいと思っています。

それから、活動の面では、去年は置県百年を記念して、いろんな活動が行われ、国内外に富山県の文化活動をイメージ強く訴えたと思っています。そういう文化活動がもっと盛んになるようにと芸術文化振興基金を一億円ほど積んでいます。こうした基金をもっと増やすことも考えてみたいと思っています。

に向けて、三つの日本一に挑戦しているわけですが、その一つが「日本一の健康・スポーツ県」二つ目が「日本一の花と緑の県」三つ目が「日本一の科学・文化県」なんです。

そこで、文化の県づくりのために、いろいろと施策を進めているところですが、私は文化に

# 百花咲き 乱れるのが文化

山口 私たち県民にとっては、ひじょうにうれしい話なんです。が、ホールというが高野さんの一言がなくてはと思いますが、富山県の施設をどのようにお考えになつていらっしやいますか。

高野 去年は富山県で三回講演させていただきましたが、本当

に設備がらっぱで、感心しています。

山口 ホールのご専門の方から



◀「子供のころに見た映画がきっかけで、文化に関心を持ち、文学を専攻するようになった」と語る山口博さん

ほめていただき、ひじょうに心強いんですが、逆に私たち利用する側から言いますと、残念ながら小さなホールがないという声がひじょうに強いんです。岩波ホールはどれくらい大きいですか。

高野 とても小さくて、二百三十二席なんです。この岩波ホールもこの二月に十六年目になり、世界の名画を紹介するエキブ・ド・シネマ（映画の仲間という意味）の運動をはじめてちょうど十周年を迎えました。

私自身は、小さい所で、小さいことをやっているのですが、岩波ホールを取りまく興業界とか国とかが、小さい所で質の高いものを気長にやるのも悪くないと、岩波方式と呼んでくださってらっしゃいます。

最近では、五百席以下の小

な劇場を建てたり、大きいものを半分にする映画館などもできています。そして、そこでパライテーターに富んだものを上映するんです。

だから、大きいのも大切、小さなものも大切で、百花咲き乱れるというのが文化だと思っ

てるんです。

もし、知事さんにおねだりできるようでしたら、少し小さなホールができるとうれしいですね。

## 地方こそ

### 若者の活躍の場

山口 高野さんのホールでは、高野さん以外に仕事をなさって

いる方がいらっしやると思いますが、若い人の力というのは期



「富山新空港が3月には完成し、ジェット機が就航することは、まさに、富山県の新世紀への飛翔」と語る中沖知事

待てますでしょうか。

**高野** 私のホールは全く若者の力でやっているようなものです。私をのぞくと平均年齢が、まだ二十五歳にならないんです。

やはり、いろいろなことを創造するには、若い人が非常に大切ですね。

**山口** そこで少し問題になるのは、富山県は若い人たちが流出して、若年労働者が少ないという問題があるんですね。何とか

して、若い人たちが富山県にとどまって、活気ある県を考えると

ですが、何かいい方法があるのでしょうか。

**高野** そういう方法はわかりませんが、若い人が都会へと出て行ったのが、今では、自分のふるさとへと流れに、全国的になっていくそうですから、今後は富山にも若い人が戻るといふ時代が来ると思っています。

うなものができるんじゃないでしょうか。

**知事** 空港周辺には、日本海側で一番大きい富山産業展示館、総合体育センターなどができ、富山の空の玄関口として、ひじ

### 女性こそ文化の担い手

**山口** 先ほど知事から人の問題ができましたけれど、高野さん、富山県の人についてはどのよう

にお考えになりますでしょうか。  
**高野** 私は、三十数年間富山にごぶさたしていたんですが、二年前に父が死にましたからすごく

気になりました。去年から講演させていただいて、あんまり富山県がきれいになっていないのに驚きました。

やはり、私が富山にいたときは、何か貧乏な感じだったんです。そして、太平洋側へ行くときれいなあとだったんです。

しかし、今、太平洋側は家が密集し、工業が建ち並び汚ないんです。

私は満州で生れ、育ったもの

ようにりっぱなものになってきていると思います。

さらに、みなさん方からご意見をいただきまして、空港周辺を文化的に魅力あるものにしていきたいと思います。

ですから、日本に来たときに何と素敵な国だなと思ったのですが、その美しさが今の富山に残っているんです。

それから、昨年、私の女学校の同級生が集まってくれたのですけれども、その女性のすばらしさに驚きました。

それから、大宅荘一先生が書かれた富山県の女性をみると、指輪をつくる真珠というのは探

しにくいかもしれないが、首飾りをつくることのできる県であるとおっしゃっています。つまり、傑出した〇〇女史という人

はいないが、粒がそろっているということなんです。私はこれを読んで本当に感動しました。

ところで、世界的な文化の水

だって、私ですらもう富山へ目が向いているんですよ。東京というのは、一種の雑文化で、そこにあるのは大企業がつくっていく商業ベースと国などの本

### 空港周辺を文化的に

**山口** 富山県に住んでいて、ひじょうにうれしい言葉だったのですけれど、一つには都会と

地方との交通機関の発達などがありますね。  
**知事** 今年の三月には空港が新しく開港しますね。

は、文化にはバラエティが富まなくてはいけないということじゃないでしょうか。  
ことに、一つのところで作って配給されるマスプロダクションというものは、世界的にすたれてきているわけです。  
だから、文化ということ富山は富山で考える時代になってきていますから、若者の活躍する場も、今後は地方だと思っ

標準の物指しというのは、女性の平均的な教養、女性が質的にどれだけのすばらしいかということ

で決まるそうです。  
そうすると、日本の女性の地位は高く、外から見ると封建的な国だとフランス人なんかは思

う人もいるんですが、実際に見てみると日本の家庭を動かしているのは女性じゃないかと驚か

れるのです。その国の中でも富山県の女性が優れているということ

は、本場にすばらしいことだと思っ

### 発展の素地をもつ富山県

**山口** 今後、富山県の女性の地位、教養を高めるための政策はどうなっているんですか。

**知事** みなさんご承知のように、富山県の高専進学率が過去三年連続日本一なんです。世界



「富山的であるということ」を伸ばすことが、インターナショナルだ」と語る岩波ホール総支配人の高野悦子さん

で高等学校進学率が一番高いのが日本ですから、世界で一番高等学校進学率の高いのは富山県だということなんです。

口一人当りの図書数も全国一ですし、公民館の設置率が全国二位なんです。

そのように、教育、文化面で、富山県にはひじょうにすばらしい素質があると思っています。

また、よく勤勉で根ばり強く、

のです。

ことなんです。

ですよね。

東京の評論家やジャーナリストの方が、「高野さんは、富山県出身の両親を持ち、その家庭に育ったからそういう進取の気性があるのですね」と書いてくださいますの、今まで意識していませんでしたが、父と母がダメといたら、できなかつたんすからね。

なぜかという、私の場合は、アメリカやヨーロッパを見て仕事をしているわけですから、それに打ち勝つ日本をどうしようかというときには、ナショナルであるという以外にはインターナショナルになれないんですよ。

ですから、東京と富山ということを考えてとき、富山は富山らしくあるということが、富山が日本のであるということであり、世界的であるというふうに思うんです。

そして、富山には本当に誇る伝統がいっぱいあるし、しかも、富山的であるということ伸ばすことがインターナショナルだと思えます。

父も母も結婚後間もなく、そのころの新大陸であった満州に行ったのも、私がフランスへ行ったのも同じことで、富山県にはそういう伝統があり、そういう血が流れていたのだと思います。

また、外国に行ったからこそ、日本の良さというものがわかり、今、岩波ホールでやっている仕事も、日本の伝統を掘り起こす

ことなんです。

江戸時代に文化・文政という時代がありました。その言葉の借りるならば、今年昭和五十九年は、富山文化元年ということになるのじゃないかと思えます。

## 本当に富山らしいものが文化

山口 伝統を生かすということなんです。高野さん、富山のホールで回り舞台をもっているホールがあるのをご存じですか。

高野 本当ですか！  
山口 全国にたくさんホールがあります。回り舞台をもっているのは富山市だけだと思うん

山口 富山県では、婦人や若者たちの国際的視野を広げるために、青年の翼や婦人の翼など海外との交流を行っています。高野さん、早い時期に外国へ行つてらっしゃいますが、外国を体験されて、日本や富山県をこぞになって、どんな感想をお持ちですか。

高野 今、知事さんが男性も優れているとおっしゃいましたが、女性がいきいきと優れていると、きの男性というのは、必ず、すばらしいんです。

## 富山県は富山県らしく

そのほかに、創造力がある県民性をもっていると思うんです。

つまり、富山県は、将来の発展への素地をもっているというのが私の信念なんです。

山口 富山県では、婦人や若者たちの国際的視野を広げるために、青年の翼や婦人の翼など海外との交流を行っています。

高野さん、早い時期に外国へ行つてらっしゃいますが、外国を体験されて、日本や富山県をこぞになって、どんな感想をお持ちですか。

高野 今、知事さんが男性も優れているとおっしゃいましたが、女性がいきいきと優れていると、きの男性というのは、必ず、すばらしいんです。

それから、すばらしい女性と結婚なさっているご主人はすばらしいですね。男性の理解がなければ、足なんか引っぱられたりして、女性は仕事ができないんですよね。

高野 今、知事さんが男性も優れているとおっしゃいましたが、女性がいきいきと優れていると、きの男性というのは、必ず、すばらしいんです。

ところで、私は日本では監督の勉強ができないから、フランスに行くわとバツと行つたんです。私としては、別に大決心はなくて、父と母が勉強したいならどうぞということだったの

高野さんからお話がありましたように、本当に富山らしいもの、それが最も日本的であり、国際社会で誇りうるものになると思います。東京のまねをしたり、大都会のまねをするという考え方はやめなければいけないんですからね。

文化というのは、本当にその地方の一番の特色を出すことによって、発揮されていくものですよ。富山県は、富山県らしくあるべきです。

高野さん、富山県は富山県らしくあるということが、富山が日本のであるということであり、世界的であるというふう

富山県は、富山県らしくあるべきです。

富山県は、富山県らしくあるべきです。

富山県は、富山県らしくあるべきです。

富山県は、富山県らしくあるべきです。

富山県は、富山県らしくあるべきです。

富山県は、富山県らしくあるべきです。

富山県は、富山県らしくあるべきです。

富山県は、富山県らしくあるべきです。

富山県は、富山県らしくあるべきです。



開通祝賀式であいさつする中沖知事



開通式の後、滑川インターチェンジまでパレード

日本道路

テープカットとクス玉割りを行い、開通を祝う関係者たち

# 北陸自動車道滑川〜朝日間開通

北陸自動車道の滑川インターチェンジから朝日インターチェンジまでの延長二十七・六キロが完成し、十一月十三日、朝日町民総合体育館で祝賀式が開催されました。その後、朝日インターチェンジで開通式が開かれ、中沖知事ら関係者がテープカット、滑川インターチェンジまでパレードしました。

そして、午後三時には開通し、待ちかねたドライバーが冬の北陸自動車道を走り抜けました。

この間の開通によって、北陸自動車道は、延長四百七十六キロ（米原〜新潟間）の約八四キロにあたる四〇二・一キロが開通。昭和六〇年代前半に完成予定の朝日〜上越間が残されるのみとなりました。

# 料理飲食等消費税でミニ減税？

— 新年早々ちょっといい話 —

お正月休みを温泉やスキー場などで過ごされたみなさんや、これから連休にかけて計画をお持ちのみなさんも多いことと思います。

ところで、みなさんが旅館やホテルをご利用になった際にかかる税金に料理飲食等消費税があります。

この税金は、1人1泊2食の料金が5,000円を超えたとき一定の額（これを「基礎控除額」といいます）を差し引いた残りの額について10%の割合でかかることになっています。



## 料理飲食等消費税のあらまし

料理飲食等消費税は、料理店、バー、スナック、旅館などで、飲食・宿泊などをしたとき、その利用料金に応じてお客さんにかかる税金です。

はじめに紹介した旅館などでの宿泊の場合のほか、税額は次のとおりです。

- ①料理店、キャバレー、バーなどでは利用料金の10%の額
- ②スナック等の飲食店では、利用料金が2,500円を超えたとき利用料金の10%の額

この税金は、料金とっしょにお店の経営者が預り、1月分まとめて県へ組める仕組みになっていますが、お店ではみなさんから税金を預ったしるしとして、公給領収証をお渡ししています。

この公給領収証を受け取ることによって、支払った料金の明細が分かると同時に、お店で預った税金も確実に県へ納められるしくみになっています。

## — 基礎控除が 変わりました —

今年の1月1日から、旅館などの宿泊にかかる「基礎控除額」が、2,000円から2,500円に引き上げられました。

その結果、例えば1人1泊2食で6,000円の料金の場合、従来は、

$$(6,000円 - 2,000円) \times 10\% = 400円$$

だった税金が、今年から

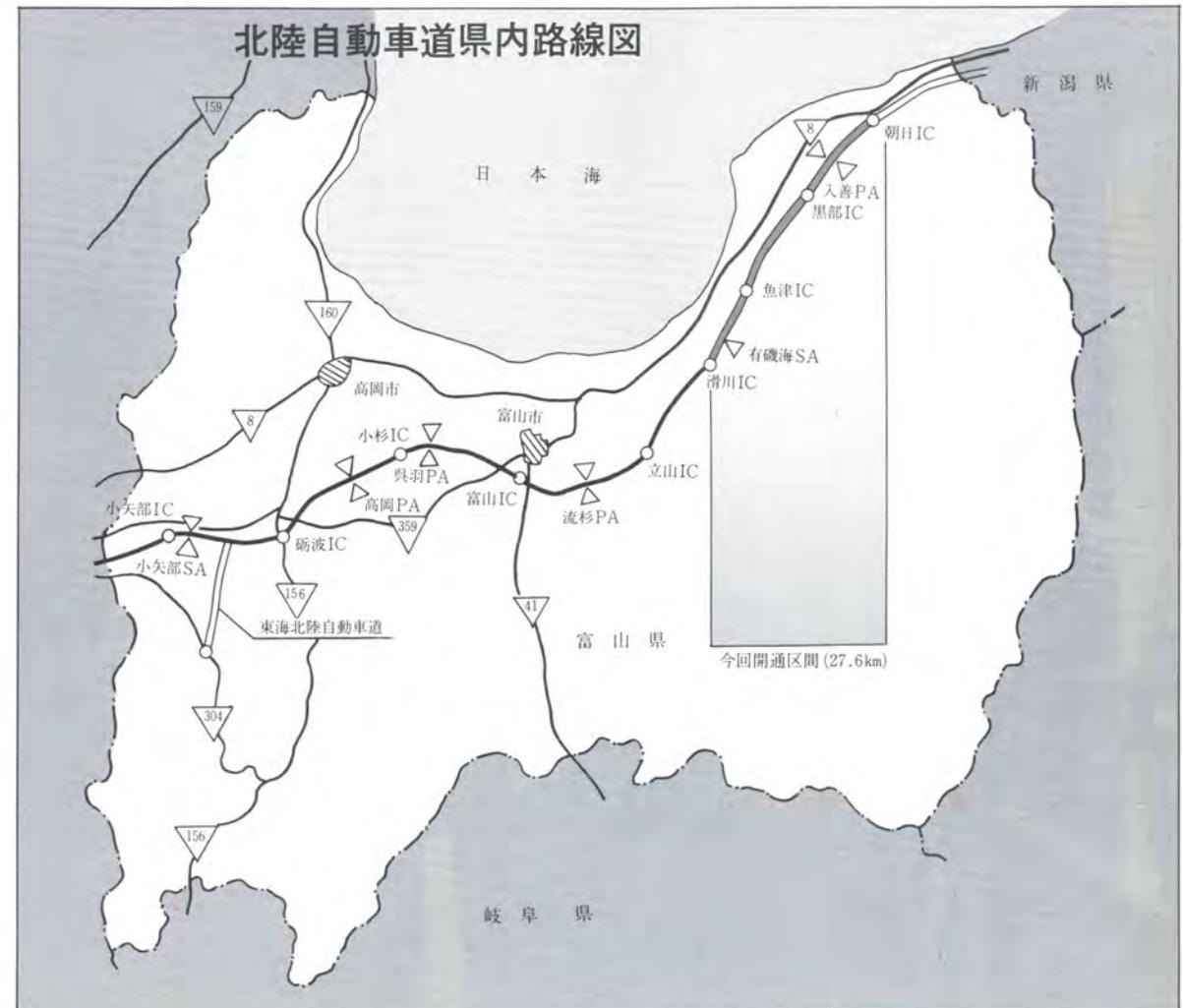
$$(6,000円 - 2,500円) \times 10\% = 350円$$

と、50円減額になりました。

**公給領収証を受け取りましょう**



滑川～朝日間の開通によって県内路線のほぼ全線が開通、観光や経済面での効果が期待されています





# 家庭電気製品の修理についての自主基準が

## スタート

家庭電気製品を修理に出したが、「完全になおらなかった」「修理に時間がかかりすぎた」、「高い修理代をとられた」というトラブルを経験した方も多くあります。

このようなトラブルを防止するため、富山県電器商業組合（738業者）では、県の消費生活条例に基づいて「家庭電気製品の修理等に関する自主基準」を定め、11月1日から実施いたしました。

### 自主基準の内容

自主基準の内容は次のとおりとなっております。

**修理料金の店頭表示**

テレビやステレオ、洗たく機など十三品目について、ブラウ管の取り替えやスイッチの取り替えなどの技術料金の目安表を作成し、消費者の目のつきやすい場所に表示することになっています。

**修理料金の見積りの提示**

消費者から修理の依頼があった場合には、あらかじめ部品代や技術料金、出張料などを見積り、消費者に示すことになっています。

**修理明細書の発行**

家庭電気製品を修理したときは、消費者に部品代や技術料金、出張料、運搬費などを記載した修理明細書を発行しなければならぬことになっています。

このほか、消費者から修理の依頼があったときは、どの店から購入されたものでも、どのメーカーの製品であっても、修理に応じることになっています。

なお、修理技術の面で応じられない場合は他の店やメーカーを紹介することになっています。

また、冷蔵庫やテレビ、洗たく機など五十三品目の商品について、その修理部品の保有期間を定め、その期間中は、部品がないことを理由に、消費者からの修理の依頼をことわってはならないことになっています。

しかし、不幸にしてトラブルが起きた場合は、依頼した電器店に申し出て、よく話し合うことが大切です。

**修理に関する相談**

組合では、修理に関する相談や苦情の解決、修理店の紹介を行うため、組合事務所（富山市平吹町4-10 ☎0764-13216465）に修理相談総合センターを設けています。

このほか、県内二十四カ所の支部にも修理相談窓口を設けています。



店頭には、修理料金が表示されています

### 11月19日～11月23日

#### 婦人美術展開催

第4回富山県婦人美術展が富山市の県民会館で開かれました。会場には、日本画、洋画、彫刻、工芸、書の5部門に応募された361点のうち入賞、入選した301点が展示。

各部門ともレベルが高く、バラエティーに富み、訪れた美術ファンを魅了しました。

### 11月25日

#### テクノポリス開発計画を提出

県は富山テクノポリス開発計画を通産省をはじめ建設、農水、国土の各省庁に提出しました。

テクノポリス構想には、全国で19地域が名乗りをあげており、関係省庁は、申請された各地域のヒアリングに入り、12月6日にはトップを切って富山地域のヒアリングが行われました。

### 11月28日

#### 県科学技術会議を設置

長期的展望に立った科学技術振興の方策を探るため、富山県科学技術会議を設置し、11月28日に初会合を開きました。

会議は県内の科学技術に造けいの深い県内在住の学識経験者15名と科学技術全般について助言を得るための顧問2名で構成、第1回会議では技術立県を推進するための方向について自由討議を行いました。

### 11月28日

#### 県魅力あるまちづくり推進委員会開く

富山県魅力あるまちづくり推進委員会は第1回の会合を開き、魅力あるまちづくり事業の進め方などについて協議しました。

その結果、県独自の施策としてまちづくりコンクールなど各種キャンペーンを実施するほか、市町村で計画を策定する地区に対して助成費を出すなど基本的方向を確認しました。

### 11月28日

#### 県政アイデア委員会開催

県政アイデア委員会が県民会館で開かれ、富山県のイメージアップに関する審議が行われました。

この委員会では、県が取り組んでいる「イメージアップ事業の推進」などについて討議。各委員からは「県外ばかりのPRだけでなく、もっと県内人へのPRを重視すべきだ」との意見が多く出されました。

### 11月29日

#### 入善町で知事と

#### 語るつどい・まちまわり

入善町で知事と語るつどい・まちまわりが行われました。

まちまわりでは、精神薄弱者更生施設「新川むつみ園」、特別養護老人ホーム「舟見寿楽苑」を訪問し、園児やお年寄りを激励。その後、婦人農産加工組で「のじゅう漬け」の清け込みを見学しました。

また午後からは、新和工業と富山日本電気を見学しました。

語るつどいでは、武村福祉会館に約300人が集まり、多くの意見や質問が出されました。

### 12月2日

#### 富山空港ターミナルビル定礎式

富山空港ターミナルビルの定礎式が同ビルのチェックインロビーで、中沖知事ら関係者が出席して行われました。

このターミナルビルは、旅客ビルと貨物ビルにわかれ、旅客ビルは、1階がチェックインロビー、到着ロビー、軽食喫茶室、物産コーナー、2階は出発ロビー、塔乗待合室、レストラン、県勢コーナー、3階は送迎見学施設などが設けられています。

### 12月6日

#### 県高度情報システム研究会発足

最近の急速な情報化社会の進展に



まちまわりで「のじゅう漬け」を味わう中沖知事



国道8号滑川・富山バイパス水橋～金泉寺間の開通を祝い関係者が車でパレード

対応するため富山県高度情報システム研究会を発足、12月6日に県民会館で第1回会合が開かれました。

会合には、県が委嘱した顧問、委員、幹事ら約40人が出席。会長に川井清保富山大学理学部教授を選任したあと、今後の運営方針について協議しました。

### 12月6日

#### 国道8号滑川・富山バイパス水橋～金泉寺間が開通

国道8号滑川・富山バイパスの富山市金泉寺～水橋金尾新(3.1km)の開通式が、同バイパスの雄峰大橋西



食品の衛生面に目を光らせる食品衛生監視員



総合雪対策に関する報告書を受け取り、握手する中沖知事



活発な討議が繰り広げられた「21世紀をめざす無雪害まちづくり」シンポジウム

詰めで、関係者約200人が出席して行われました。

開通式終了後の午前11時から供用が開始。交通量の分散などの効果を上げるものと期待されています。

### 12月6日～12月27日

#### 年末食品一斉取締り

歳末を控え、県では県内の食品販売店などで、年末食品一斉取り締まりに乗り出しました。

この調査は、年末年始にはいろんな食品が大量に出回り、食品の取り扱いが粗雑で不衛生になりがちなため実施しているもので、27日まで食

品衛生監視員や食品衛生指導員が目を見守りました。

### 12月9日

#### 県総合雪対策研究会が報告書を提出

富山県総合雪対策研究会は、県民会館で部会長会議を開き、2年半にわたって検討してきた総合雪対策に関する報告書の中沖知事に提出しました。

県では、この報告書を指針にして雪に対する行政を進めていきます。

### 12月13日

#### 北陸自動車道朝日～

#### 滑川間開通

北陸自動車道の朝日～滑川間が開通しました。(10～12頁参照)

### 12月14日

#### 置県百年記念公開シンポジウム「21世紀をめざす無雪害まちづくり」開催

置県百年を記念して「21世紀をめざす無雪害まちづくり」公開シンポジウムが県民会館大ホールで開かれました。

会場は、約1000人の県民のみならず超満員になり、県内外の講師やパネラーの報告。提言をもとに活発な討論が繰り広げられました。

富山空港は、北陸自動車道、国道四十一号線に近接し、富山市の中心より七キロと恵まれた条件をもち、全国的にもめずらしい河川敷を利用した空港です。九月十七日より空港を閉鎖してジェット化のための拡張工事が急ピッチで進められています。このほど滑走路部分（幅四十五メートル、長さ二千メートル）の工事が完成。十一月二十九日から飛行検査を開始しました。

今後、この飛行検査、完熟飛行を経て、昭和五十九年三月十八日に開港し、ジェット機が就航する予定です。

置県百年記念施設 ⑦

# 富山空港

場所 富山市秋ヶ島



3月18日に開港予定の富山空港

## 1月の置県百年記念事業

●1/29～1/31 高松宮賜杯第34回中部日本スキー大会

場所 大山町粟巣野スキー場、県営ゴンドラスキー場

# お知らせ

### ●路上駐車はやめましょう

冬の期間は、雪のため道路の幅員が狭くなるばかりでなく歩道が通れなくなり、歩行者も車道を通行するようになります。このため、路上駐車をするとその陰から歩行者がとび出して車にはねられたり、車がスリップして路上に駐車している車両に衝突するなどの事故が心配されます。

また、路上駐車をするとそこを通る車は進路を変えなければならぬため、交通の流れを乱し、交通渋滞の原因をつくってしまうばかりでなく、除排雪作業の妨害にもなります。車は必ず車庫や空地に駐車しましょう。

### ●パーソントリップ調査にご協力を

県では、建設省と富山市、高岡市など19市町村の協力を得て、全国で初めての冬期パーソントリップ調査を1月から2月にかけて実施します。

この調査は、県民の皆さんが、冬の日常生活の中で、鉄道、バス、自動車などの交通機関をどのように利用され、また徒歩などでどのような行動をされているかを調べるものです。

調査結果は、雪に強く利用しやすい交通システムの策定など、無雪害街づくりを進めるため利用されます。

つきましては、調査をお願いする家庭の皆さんには、ご多忙中まことに恐れ入りますが、1月中旬に調査員が各家庭を訪問し、調査用紙の記入方法などについて詳しく説明しますので、ご協力をお願い致します。

●母子家庭向け修学資金、就学支度資金の貸付け案内  
昭和59年度にお子さんが小・中学校、高校、高専、大

学、専修学校などへ入進学されるために必要な経費を県がお貸しします。

○貸付限度額/修学資金(高校以上)は月額7千円～2万9千円(児童扶養手当または母子年金などの受給資格が修学中になくなった場合、特例貸付けの制度があります)。就学支度資金は1人につき3万800円～7万円(小・中学校入学の場合、所得税非課税世帯に限ります)

○申込受付期間/2月1日～3月24日

お問い合わせ、申し込みは市町村の母子福祉担当窓口へ

### 1月の街頭献血日程

月日曜	場 所	時 間	月日曜	場 所	時 間
1/15(日)	富山西武前	10:00～16:00	1/22(日)	富山駅前	10:00～16:00
16(月)	富山駅前	10:00～16:00	24(火)	城端町役場前	10:00～15:30
17(火)	小矢部市役所前	10:00～15:30	28(土)	高岡駅前	10:00～16:00
20(金)	新湊市役所前	10:00～15:30	28(土)	富山駅前	10:00～16:00
21(土)	高岡駅前	10:00～15:30	29(日)	高岡駅前	10:00～16:00
21(土)	地鉄桜井駅前	10:00～15:30			

### 県政についてのご相談は県民相談室へ

県 民 相 談 室	富山市新総曲輪1-7(県庁内) ☎富山31-4111(代) 31-3131(県民電話)
高岡地方県民相談室	高岡市赤祖父211(総合庁舎内) ☎高岡21-9411
魚津地方県民相談室	魚津新宿10-7(総合庁舎内) ☎魚津24-5311
砺波地方県民相談室	砺波市幸町1-7(総合庁舎内) ☎砺波33-5151

## お茶の間にお届けします県広報

広報課では、この「県広報とやま」のほか、テレビ、新聞などの媒体を活用して、県の施策の紹介や暮らしに欠かせない情報を提供しています。

### テレビ広報

#### KNB「こんにちは富山県です」

県政の諸施策、問題点を、みなさんに知っていただくための番組です。また、今年度は、置県100年特別企画をシリーズで行います。

毎週日曜日、午前8時～8時30分

#### 12月のKNB「こんにちは富山県です」

15日	新成人知事と語る
22日	海外派遣から帰って ～高校生大いに語る～
29日	雪に鍛える ～冬の健康とスポーツから～

#### 富山テレビ「110万人のひろば —クイズ! フォーカスイン—」

県内のいろいろな話題、さまざまな施設、みなさんの関心事などを、クイズ形式で楽しく紹介する、ふるさと再発見番組です。

毎週日曜日、午前9時～9時30分

### 新聞広報

県の主な施策や事業を紹介し、当面する課題をみなさんと一緒に考えるとともに、生活情報を提供します。

○北日本、富山、読売、北陸中日

毎月第2土曜日「県からのお知らせ」

毎月最終土曜日「みんなの県政」

○朝日、毎日

毎月第2・最終土曜日「県からのお知らせ」

# 「わたしたちの壁画'84」展開催

59年1月5日～1月26日



石動中学校「-DIGITAL TRIP-KURIKARA'84」



大沢野小学校「わたしたちを見ているおじょうさま」



全員で大作に挑む生徒たち（雄山中学校）

県立近代美術館では、昭和59年1月5日から1月26日まで県内の児童・生徒のみなさんが共同で大画面に挑んだ「わたしたちの壁画'84」展を開催します。

第3回を迎えた今年の壁画展には、20小学校、10中学校に砺波学園分校を加えた31校、約2,800人の児童・生徒が参加。子供たちの限りの創造性にあふれた大作31点には夢や希望がいっぱい。

また、会期中には講師とともに創造のてがかりを求めつつとして「みんなでつくるダンボール・ジャングル」や楽しい映画も予定しています。